

## 随想

〈第三十二回〉

### 渋沢栄一とまちづくり

市長 米本 弥一郎



皆さんは、NHK連続テレビ小説「虎に翼」をご覧になっていますか。

このドラマの中で、主人公の寅子を法律の世界に導く、穂高重親という大学教授が登場します。そのモデルは、東京帝国大学教授・法学部長や最高裁判所判事を歴任した、法学者の穂積重遠だといわれています。

穂積重遠は、新1万円札の肖像となる渋沢栄一の孫にあたる人物です。重遠の母親で、渋沢の長女でもある歌人の穂積歌子が、渋沢と共に旭を訪れていたことを知り、ドラマの登場人物にも親しみを感じています。

「近代日本経済の父」と称される渋沢栄一は、大正7年と昭和3年に旭を訪れました。渋沢が2度訪れた地は珍しいとのこと。

大正7年9月に開かれた講演会は「旭町の三翁<sup>さんちゆう</sup>」と呼ばれた飯田佐次兵衛らが、まちの振興策や世界情勢

などを語ってもらえたら有益だろうと考えたのがきっかけで、町の有志たちと相談し、商業組合である改進黨が主催しました。記録では、渋沢が旭町小学校(現在の中央小)で児童に訓話をし、記念に楠を植樹した後、市民に向けて商業道德と題し講演をしたと伝えています。

この当時、町の人々は県立中学校の誘致運動などを展開していました。その後には、旭町を中心とする産業振興を目的とした旭町繁栄政策研究会を発足させています。研究会の主催による町民大会も開かれ、まちを繁栄させるための政策などが活発に議論されたそうです。

渋沢の言葉に触れた旭の人々が、まちづくりへの情熱を燃やしたのでしょう。私も先人たちの熱い想いを心に留め、市民の皆さんと共にまちづくりを進めてまいります。

## 図書館へ行こう

開館時間／火～金曜日：午前9時～午後7時

土・日曜日、祝・休日：午前9時～午後5時

今月の休館日／1日(月)、8日(月)、16日(火)、22日(月)、29日(月)

岡市図書館 ☎62-2560 <https://www.library-asahi-chiba.jp/>

### おはなしの時間

幼児向けの絵本の読み聞かせ

日時／6日(土)、20日(土)

午前10時30分～11時

場所／県立東部図書館3階 研修室

### 今月のおすすめ



#### 「東京ハイダウェイ」

古内一絵 著 (集英社)

念願の部署に配属された桐人は、同期の直也と対立し悩んでいた。人事部の恵理子は会社に向かえず…。都会に生きる人々の心の傷と再生を描く6つの物語。



#### 「詐欺師と詐欺師」

川瀬七緒 著 (中央公論新社)

詐欺師の藍は、9年間復讐<sup>ふくしゅう</sup>に全てをささげ、親の敵を探すみちるを手伝うことに。徹底して痕跡を残さない敵に手こずる中、バラバラ死体事件に巻き込まれ…。

### 新着図書

- 図書館にまいこんだこどもの超大質問 (こどもの大質問編集部)
- 日本初の女性裁判所長三淵嘉子 (平凡社)
- 白い拷問(ナルゲス・モハンマディ)
- 働く世界のしくみとルール (小西康之)
- 水族館飼育係だけがみられる世界 (下村実)
- 「生きる力を引き出す」住まい (朝尾浩康)
- 難しいことはわかりませんが、50歳でも農業を始められますか? (深瀬貴範)
- 観光客を助ける英会話(浜崎潤之輔)
- 俺たちの箱根駅伝 (池井戸潤)
- 娘が巣立つ朝 (伊吹有喜)
- 魔女の後悔 (大沢在昌)
- ゆうびんの父 (門井慶喜)
- さまよえる神剣 (玉岡かおる)
- グリフィスの傷 (千早茜)
- 対決 (月村了衛)
- ひとつの祖国 (貫井徳郎)
- 60代、ひとりの時間を心ゆたかに暮らす (岸本葉子)
- ビリー・サマーズ (スティーン・キング)